

Kageyama Magazine

SDGs special feature

カゲヤマ マガジン



もっと身近に、もっとみんなで考える

SDGs特集 影山グループの取り組みを余すことなくお伝えします。

スポーツを通じて、地域とつながりウェルビーイングを推進する

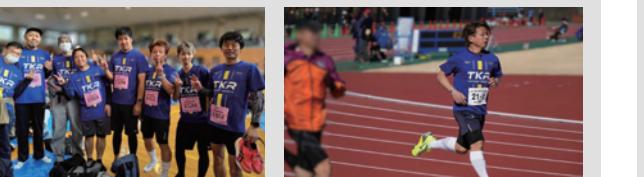
社員同士の絆を深め、地域とつながるマラソンチーム

タカラ産業 製造部 Kさん



もともと個人でマラソン大会に参加していましたが、その際、同じ企業のシャツを着て互いに応援し合う参加者の姿を見て「いいな」と感じたことがきっかけで、社員を説いてマラソンチームを結成しました。現在は毎年春・秋の『沼津スマイルマラソン』と冬の『富士駅伝競走大会』に登場しています。活動を通じてスポーツ用品店と一緒に買い物に行くなど、社員同士の交流が増え、親睦も深まっています。また企業名入りのオリジナルシャツで参加することで、社外から応援をいただき、会社の認知向上にもつながっています。さらに写真撮影が趣味の社員に協力してもらったり、一眼レフで臨場感ある写真を撮影・社内共有し、マラソンの楽しさや仲間の頑張る

姿を伝えています。今後は走る人、応援する人、どんな形でも参加していただけるメンバーを増やし、地域との繋がり及びタカラ産業を盛り上げていきたいと考えています。



自動化、IT化を促進させ業務効率を上げる

最新測定器の導入がスキルアップにつながる

第一金属工業 品質保証部 Tさん

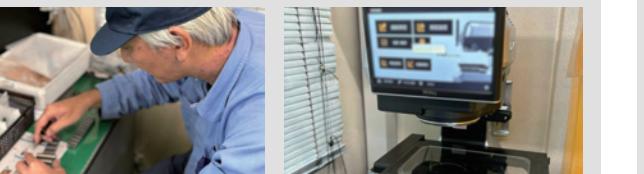


以前は、製品検査1つ1つにとても時間がかかっていました。担当者による測定誤差も発生し、自分の測定結果の正確性に疑問を持つこともありました。そこで課題解決に最適な『画像式測定器 IM-8000シリーズ』を見つけて、会社の皆様のご協力を得て社長に機器を導入していただくことができました。IM-8000は決められた条件で常に正確な測定ができます。誰もが常に同一条件で測定できるので、不良の発見や削減に大きく貢献できます。

また、短時間で多くの種類の製品を検査でき、製品の比較分析が可能になりました。具体的な数値が分かることで、自分のスキルアップにもつながっています。

測定結果を迅速にお客様に提出できるというメリットも大きく、活用の幅が広がっています。

今後は導入後に生じた問題点等の検証をしながら、品質保証部一丸となって軌道に乗せていくよう努めてまいります。



地域の子どもたちへ「ものづくり」体験を通して学ぶ機会を提供する

ものづくりを幼いうちに経験し、将来の職業選択の一つにしてほしい

大洋産業 経営企画部 HR・ブランディング課 Sさん



大きなプロジェクトを任せたことで、失敗できないというプレッシャーを強く感じ、責任感がつきました。

また、多くの案を出せるようになり、新しい扉が開いた気がします。プロジェクトメンバーには感謝しかありません。考え込んでいた時も「全部一人でやらないで良い、困ったら何でも言ってくれ」と言われ肩の荷が下りました。

社員もコンペやアンケートで意見をくれ、多くの方が運営メンバーに立候補してくれて本当に助かりました。

社員全員で選んだ建物が完成し、想いが形になった時の気持ちは『嬉しい』の一言に尽きますね。今後はもっと子供達に来てほしいです。

そして伝統を大事にし、自分の街を誇れる人になってほしい。桑名は鋳物や祭りなど伝統が多い街ですが、ものづくりに従事する人が少ないと感じています。ものづくりを幼いうちに経験し、将来の職業選択の一つになれば嬉しいです。



異なる現場をつなぎ、グループ全体の成長に貢献する

出向で広がる視野、深まる技術

大洋産業（三協鑄造所出向中）Kさん



今回の出向は、自身のキャリアアップを見据えた学びを目的としています。打診を受けた際は、先に出向している社員がいたため、「驚き」と「自分ももしかしたら…」という気持ちが半分ずつでした。

まずは全体の業務を覚えることを重視し、1~2ヶ月ごとに持ち場を変えながら、半年間で5箇所を経験しました。同じ鋳物製造でも新人のような状態ですが、常に初めての作業に挑戦するため各工程のやり方を覚え、広く現場を見ることを意識しています。三協鑄造所では、大洋産業で未経験だった『造型』や『中子』など、鋳物づくりの根幹に近い工程にも関わるようになり、これまで以上にものづくりに携わっているという

実感を強く持つようになりました。今回の出向を通じ、1社にいたら見えなかつた“モノの見え方”が広がりました。今後は会社見学や意見交換会など、さらにグループ会社間の交流が増えることを期待しています。



多様な働き方とジェンダー平等を実現する

多くの業務をこなせるオールラウンダーになりたい

影山鉄工所 製造部 製造グループ Tさん



影山鉄工所を知ったきっかけはテレビ番組です。溶接体験工房でのづくりの面白さを広めているのを見て、ここで働きたいと思いました。しかし、当時は経験が浅かったため、知識や経験を積んでから2023年に入社しました。

影山鉄工所には積極的にチャレンジできる環境があります。会社が資格取得に力を入れており、成長の機会が多いため、現在は様々な資格取得に挑戦中です。現在は鉄骨の溶接業務を主に行ってますが、工場では男女の隔たりなく同じ仕事を任されるので働きやすいです。女性だからと変に気を使われないので、皆と接しやすいですね。社食も美味しい、事務所がおしゃれな魅力です。作業中

は社員との連携を心掛け、円滑に業務が回るよう意識しています。

今後は加工や運搬、クレーンなど多くの業務をこなせるオールラウンダーになることが目標です。



自動化、IT化を促進させ業務効率を上げる

最新測定器の導入がスキルアップにつながる

第一金属工業 品質保証部 Tさん



以前は、製品検査1つ1つにとても時間がかかっていました。担当者による測定誤差も発生し、自分の測定結果の正確性に疑問を持つこともあります。そこで課題解決に最適な『画像式測定器 IM-8000シリーズ』を見つけて、会社の皆様のご協力を得て社長に機器を導入していただくことができました。IM-8000は決められた条件で常に正確な測定ができます。誰もが常に同一条件で測定できるので、不良の発見や削減に大きく貢献できます。

また、短時間で多くの種類の製品を検査でき、製品の比較分析が可能になりました。具体的な数値が分かることで、自分のスキルアップにもつながっています。

測定結果を迅速にお客様に提出できるというメリットも大きく、活用の幅が広がっています。

今後は導入後に生じた問題点等の検証をしながら、品質保証部一丸となって軌道に乗せていくよう努めてまいります。



地域の子どもたちへ「ものづくり」体験を通して学ぶ機会を提供する

ものづくりを幼いうちに経験し、将来の職業選択の一つにしてほしい

大洋産業 経営企画部 HR・ブランディング課 Sさん



大きなプロジェクトを任せたことで、失敗できないというプレッシャーを強く感じ、責任感がつきました。

また、多くの案を出せるようになり、新しい扉が開いた気がします。プロジェクトメンバーには感謝しかありません。考え込んでいた時も「全部一人でやらないで良い、困ったら何でも言ってくれ」と言われ肩の荷が下りました。

社員もコンペやアンケートで意見をくれ、多くの方が運営メンバーに立候補してくれて本当に助かりました。

社員全員で選んだ建物が完成し、想いが形になった時の気持ちは『嬉しい』の一言に尽きますね。今後はもっと子供達に来てほしいです。

そして伝統を大事にし、自分の街を誇れる人になってほしい。桑名は鋳物や祭りなど伝統が多い街ですが、ものづくりに従事する人が少ないと感じています。ものづくりを幼いうちに経験し、将来の職業選択の一つになれば嬉しいです。



異なる現場をつなぎ、グループ全体の成長に貢献する

出向で広がる視野、深まる技術

大洋産業（三協鑄造所出向中）Kさん



今回の出向は、自身のキャリアアップを見据えた学びを目的としています。打診を受けた際は、先に出向している社員がいたため、「驚き」と「自分ももしかしたら…」という気持ちが半分ずつでした。

まずは全体の業務を覚えることを重視し、1~2ヶ月ごとに持ち場を変えながら、半年間で5箇所を経験しました。同じ鋳物製造でも新人のような状態ですが、常に初めての作業に挑戦するため各工程のやり方を覚え、広く現場を見ることを意識しています。三協鑄造所では、大洋産業で未経験だった『造型』や『中子』など、鋳物づくりの根幹に近い工程にも関わるようになり、これまで以上にものづくりに携わっているという

実感を強く持つようになりました。今回の出向を通じ、1社にいたら見えなかつた“モノの見え方”が広がりました。今後は会社見学や意見交換会など、さらにグループ会社間の交流が増えることを期待しています。



リモートワーク推進による多様な働き方の提供

子供の生活スタイルに合わせられるようになった

影山鉄工所 設計部 積算グループ Hさん



現在、週1の出社日以外は基本リモートワークをしています。私は小学生の子供がいますが、子供の生活スタイルに合わせられるようになりますと助かっています。警報が出て急に下校させられてしまったり、学級閉鎖で学校に行けなかったりする際に、自宅で待機し子供の様子を見ながら仕事をさせてもらえるので安心です。また、リモートワークをする前は子供が1人で帰ってきて習い事に行くのが不安でしたが、私が在宅であれば送り出しができるので安心ですね。在宅が多い中でも、部署内の連携を保つのに意識していることは『とにかく話すこと』。なるべく部下の声を聴き、顔を合わせながら話すことで、部下の体調や様子をうかがっています。

私は対面で話すことが好きですが、在宅ではやりきるところまで集中してできるので、リモートと出社をバランスよく組み合わせて仕事させていただいている。



多様な働き方とジェンダー平等を実現する

男性育休が当たり前の未来へ

大洋産業（小出鋳造所出向中）Fさん



第2子の誕生をきっかけに、初めて育休を取得しました。第1子の時は、仕事を抜ける罪悪感から取得しませんでしたが、頼れる実家も夫婦ともに遠方のため、妻への負担を考え取得を決めました。会社の後押しや仲間の支えにとても感謝しています。

育休中は主に家事を担当し、炊事もできるようになりました。また、長子と2人きりで過ごす時間も多く、「パパになれた」と実感しています。

現在は、育児介護休業法に基づく制度を利用し、時間外労働の免除も受け、下の子のお風呂や夕食、寝かしつけを夫婦で分担しています。育休を取得したことで、妻と家事・育児の大変さを共有でき、ストレスを減らすことで心の支えになればと思います。

社会的な支援も進んでいますが、今後さらに男性育休取得が当たり前となる環境を望んでいます。



住み続けられるまちづくりに貢献する

すべてが未来への一歩 続ける力が変化を生む

タカラ産業 営業部 インサイドセールス課 Iさん



4月のメンバー入れ替えのタイミングでSDGsチームに加入し、1年間リーダーを務めました。経営方針発表会で活動を紹介し、グループ全体にも認知してもらえたことは大変でしたが大きな成果です。

メンバーと意見を出し合い、活動内容を決定し、年間の大まかなスケジュールを立てて毎月実行してきました。具体的には、ペットボトルキャップや古切手の回収、夏・冬の清掃活動、ウエス作成などです。社員の皆さんも清掃や寄付に協力的で、とても助かっています。

SDGs活動は数字で見える大きな変化は感じにくいですが、コツコツ継続し、長く続く取り組みとして社員一人ひとりに

認識してもらいうことが重要だと考えています。



影山グループ SDGs活動

SDGsとは？

SDGsとは「持続可能な開発目標」。

簡単に言うと

「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみんなで2030年までに解決していこう」という計画・目標のことです。

そして、SDGsは17の目標と169のターゲットから構成されています。将来の資源の枯渇や社会的な不安を未然に防いで持続可能性を確保することで、未来を安心して暮らせるようにするための取り組みがSDGsです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

活動の理由

- ①「ビジネスの成長と可能性」現在SDGsは世界で注目されており、SDGsに取り組むことはビジネスチャンスにも繋がります。
- ②「社会的責任とリスク対策」すでにビジネスの世界ではSDGsに取り組んでいないことがリスクとなってきています。
- ③「人材の確保と従業員のモチベーション」SDGsは人材の確保と従業員のモチベーションを高めることに必要な取り組みです。
- ④「ステークホルダーとの関係強化」応援先がSDGsに取り組んでいるかどうかで応援する熱量も変わってきます。

活動紹介

パートナーシップ構築宣言



サプライチェーンの取引先や価値創造を目指す事業者様と連携・共存共栄を進め、新たなパートナーシップを構築するため、「パートナーシップ構築宣言」を行っています。

ポジティブ・インパクト



影山鉄工所と第一金属工業は静岡銀行様と「ポジティブ・インパクト」の取り組みを実施。省エネなどの取り組み目標を設定し、持続可能性向上に挑戦しています。

子供向けのワークショップ開催



影山グループの体験工房では、ワークショップを通じてのづくりの楽しさと文化を地域の子供達や社会に広げる活動をしています。

エコアクション 21



タカラ産業では、環境保全活動を実施するための指針となる「エコアクション 21」の認証を取得しています。持続可能な社会の実現に向けて引き続き尽力します。

従業員研修



影山グループでは社員が成長できる環境を整備しています。その一環として従業員研修などの教育体制を随時構築し、内容は常にアップデートしています。

日報の電子化



紙の日報をスマホアプリ化することにより、記入の手間を無くし集計を自動化することで、作業工数の短縮と業務効率化に繋げ、DX化を推進しています。

廃棄物シェアリング



SDGsゴール12「つくる責任つかう責任」をテーマに、影山グループ間で不要物を共有し、使いたいと思っている方にお渡しするという取り組みを行っています。

会社周辺清掃



定期的に会社周辺の清掃を行い、住み分けられるまちづくりに貢献しています。グループ各社で取り組み、社員同士の親睦を深めながら継続的に活動しています。

生産管理システム



鉄骨製造では生産管理システムを開発することで業務の可視化を実現し製造工程の効率化に役立て、1人当たりの生産性向上を目指しています。

今後の取り組みについて

今後も影山グループ一体となって、SDGs達成に向けた貢献活動を推進していきます。また、世界共通の目標であるSDGsに対する全社員の意識浸透と共に、ものづくり業界の地位向上と持続可能な社会の実現を目指します。